

図書館だより

武雄高等学校 図書指導部
令和4年9月16日発行



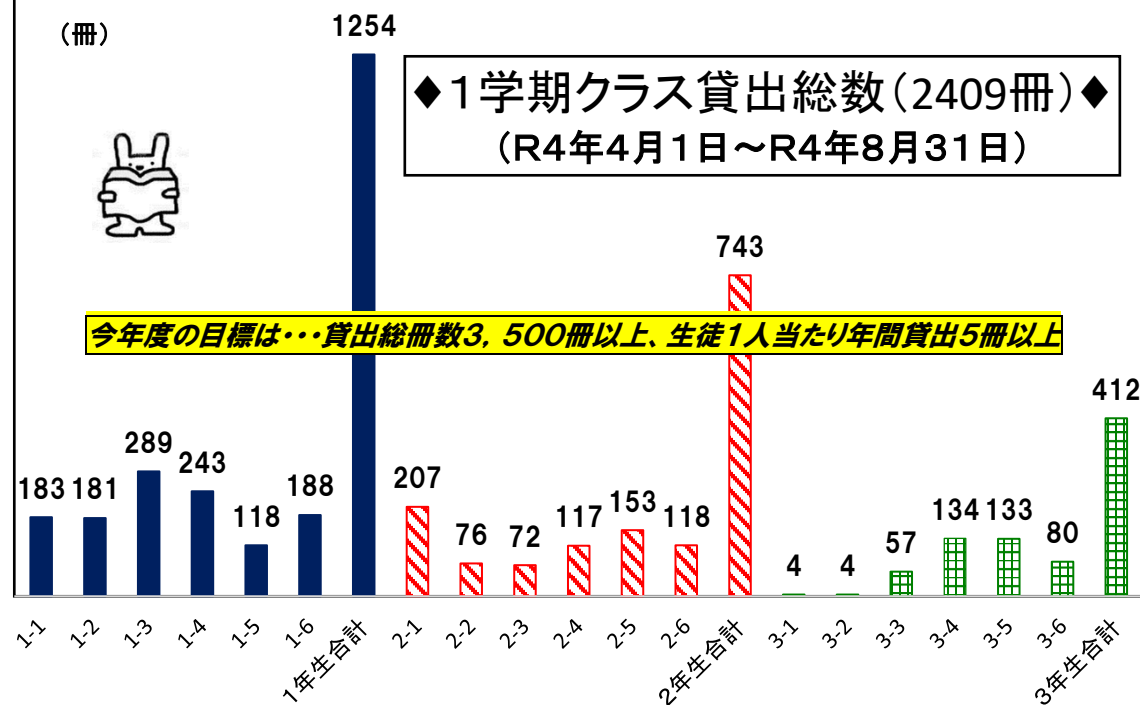
武陵祭も終わり、素敵な思い出がたくさんできたことだと思います。
さあ！次はいよいよ“芸術の秋”＆“読書の秋”が待っていますよ！ぜひ、実りの秋にしてください。

(冊)



◆1学期クラス貸出総数(2409冊)◆
(R4年4月1日～R4年8月31日)

今年度の目標は・・・貸出総冊数3,500冊以上、生徒1人当たり年間貸出5冊以上



新年度が始まり、半年が過ぎた時点でのクラスの貸出冊数は以上のとおりです。

1年生→1人当たりの貸出冊数 4.3冊 2年生→1人当たり貸出冊数 2.0冊
3年生→1人当たりの貸出冊数 1.4冊 全体で1人当たり貸出冊数 2.59冊となりました。

1年生、すばらしいですね！この調子で、読書を楽しんでください。

2年生、来年度は受験が控えています。日ごろから読む習慣をつけておきましょう。

3年生、いよいよ推薦入試が始まります。図書館をどんどん活用してください！

7月から「3年生 学年文庫」を3階ホールにて設置しています。主に、進路に役立つ小論文関連をメインに15冊ほど配架しています。図書館が遠いなど感じる人は、ぜひ学年文庫を活用ください。

貸出は、学級文庫と同様に「貸出記録簿ファイル」にクラス・出席番号（もしくは名前）記載したら、こちらで貸出入力の手続きを行いますので、返却の際は購買部前の「返却BOX」を活用してください^^

お知らせ

1階トイレの壁面に「新刊図書案内POP」を新設していますので、気になる本がありましたら、図書館まで足を運んでください^^



☆3年ぶりの開催となります！普段なかなか見ることのできない劇団の生の演技をじっくり見て感じ取ってください。

10月20日（木）芸術鑑賞会について

「ヘレン・ケラー ～ひびき合うものたち～」（東京演劇集団「風」）
於：武雄市文化会館 午後より



（あらすじ）

幼少期の病のため、聴力・視力を失い、話すこともできないヘレン・ケラーと困り果てた家族のもとに、新米の家庭教師アニー・サリバンが訪れる。情熱的に教えるようとするも、ヘレンに拒絶され続けるアニーは、周囲と離れ二人きりで生活することを決意する。与えられた時間は2週間。失敗を繰り返しながらお互いを求め、理解し、身体ごとぶつかり合う対話から世界を広げていく2人の出会いを描く。

★167回 芥川賞・直木賞 受賞作が発表！★

7月20日に、第167回芥川賞・直木賞の受賞作が発表されました。

芥川賞には高瀬隼子さんの『おいしいごはんが食べられますように』が、直木賞には窪美澄さんの『夜に星を放つ』選ばれました。図書館に入荷しています。是非、読んでみてください。

芥川賞 受賞作



『おいしいごはんが食べられますように』高瀬隼子(著)

「二谷さん、わたしと一緒に、芦川さんにいじわるしませんか」心をざわつかせる、仕事+食べもの+恋愛小説。職場でそこそこうまくやっている二谷と、皆が守りたくなる存在で料理上手な芦川と、仕事ができがんびり屋の押尾。ままならない人間関係を、食べものを通して描く傑作。

直木賞 受賞作



『夜に星を放つ』窪美澄(著)

コロナ禍のさなか、婚活アプリで出会った恋人との関係、30歳を前に早世した双子の妹の彼氏との交流を通して、人が人と別れることの哀しみを描く「真夜中のアボカド」。

学校でいじめを受けている女子中学生と亡くなった母親の幽霊との奇妙な同居生活を描く「真珠星スピカ」、父の再婚相手との微妙な溝を埋められない小学生の寄り添いを描く「星の随に」など、人の心の揺らぎが輝きを放つ五編。

新刊図書案内

1分類（哲学）

『汝、星のごとく』 風良ゆう【著】



風光明媚な瀬戸内の島に育った高校生の暁海と、自由奔放な母の恋愛に振り回され島に転校してきた權。

ともに心に孤独と欠落を抱えた二人は、惹かれ合い、すれ違い、そして成長していく。

生きることの自由さと不自由さを描き続けてきた著者が紡ぐ、ひとつではない愛の物語。

2分類（伝記・地理・地誌）

『「ナパーム弾の少女」五〇年の物語』 藤 えりが【著】



ベトナム戦争の真実を世界に知らしめた「写真の少女」のその後の人生。

どんな過酷な逆境下でも懸命に、そして賢明に生きる。感動のノンフィクション。

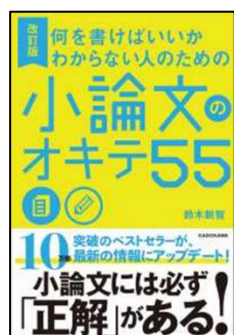
『これからの日本で生きていくために必要なこと・ボーダレス時代の新・教育論』 吉田智雄【著】



見通しの利かない激動の時代、この世界を、日本を、子どもたちどう生き抜いていけばいいのか？

すべての基本は「教育」にある。どのような教育が必要なのか、どういう教育を選択すればいいのか、著者が、どんな子どもも等しく平等に質の高い教育を受けることのできる「教育の水道哲学」という信念で展開してきた教育事業で、日々感じてきた、教育に関する考えをまとめた。

『何をかけばいいかわからない人のための小論文のオキテ 55（改訂版）』 鈴木鋭智【著】



小論文には必ず「正解」がある。受験生の“お悩み”を解決するための55のオキテがこの一冊に。

『暇と退屈の倫理学』（國分功一郎）

『食べることの哲学』（檜垣 立哉）

『自分を好きになれない君へ』（野口 嘉則）

『「自己肯定感低めの人」のための本』（山根 洋士）

『フランスの高校生が学んでいる 10 人の哲学者』シャルル・ペパン（箸）

『美しさと魅力の心理』（三浦佳世/河原純一郎）

『イザベラ・ハードと日本の旅』（金坂清則）

『ビジュアル世界大地図』（左巻 健男）

『核兵器について、本音で話そう』

（太田昌克/兼原信克/高見澤將林/番匠幸一郎）

3分類（社会科学）

『地政学と歴史で読み解くロシアの行動原理』（亀山 陽司）

『東大現役合格→トップ成績で医学部に進学した僕の超戦略的勉強法』（宇佐見天誓）

『マンガでわかる LGBTQ+』（パレットーク）

『ぼくは性別モラトリアム』（からたちはじめ）

『LGBT の B です - 意外とやさしい社会でした』（きゅうり）

『1 コマでもできる「公民科」「社会科」のための模擬裁判教材集』（煙山正大【編纂】）

『コミック会話 - 自閉症など発達障害のある子どものためのコミュニケーション支援法』

（キャロル・グレイ）

『お母さんと先生が書くソーシャルストーリー - 新しい判定基準とガイドライン』

（キャロル・グレイ）

『食するとはどういうことか - 世界の見方が変わる三つの質問』（藤原 辰史）

『完全版 いじめられている君へ いじめている君へ いじめを見ている君へ』（朝日新聞社【編】）

4分類（数学・動物学・医療）

『総合的研究問題文の取り組み方 - 数学Ⅰ A・Ⅱ B』（古賀 真輝）

『ゼロから無限へ-数論の世界を訪ねて』（コンスタンス・レイド）

『数の世界-自然数から実数、複素数、そして四元数へ』（松岡 学）

『大学入試問題で語る数論の世界-素数、完全数からゼータ関数まで』（清水 健一）

『数学オリンピック 2017～2021』（数学オリンピック財団【監修】）

『やっぱりざんねんないきもの事典 - おもしろい！進化のふしぎ』（今泉 忠明）

『日本の中絶』（塚原 久美）

6分類（商業）

『2025 年、人は「買い物」をしなくなる-次の10年を変えるデジタルシエルフの衝撃』

（望月智之）

7分類（芸術）

『ヒット曲のリズムの秘密』

（ドクター・キャピタル）

8分類（言語）

『日本人が言えそうで言えない英語表現 650』（キャサリン・A・クラフト）

『金田一先生のことば学入門』（金田一秀穂）

『学校では教えてくれない！国語辞典の遊び方』（サンキュータツオ）

『ジャパントイズ社説集（2021）』

（ジャパントイズ出版【編】）

9分類（歌集・小説）

『さよならは仮のことば-谷川俊太郎詩集』（谷川 俊太郎）

『嘘つきジェンガ』（辻村深月）

『腹を割ったら血が出るだけさ』（住野よる）

『ミチクサ先生（上）（下）』（伊集院 静）

『恋歌』（朝井 まかて）

『卒業』（重松 清）

『夜に星を放つ』（窪 美澄）

『イマジン？』（有川 ひろ）

『旧友再会』（重松 清）

『空白を満たしなさい（上）（下）』（平野啓一郎）

『掬えば手には』（瀬尾まいこ）

『ギフト』（原田マハ）

『四畳半タイムマシンブルース』（森見登美彦）

『夢見る帝国図書館』（中島京子）

『長いお別れ』（中島京子）

『生命式』（村田沙耶香）

『ムゲンの i（上）（下）』（知念実希人）

『革命前夜』（須賀 しのぶ）

『夜想曲集-音楽と夕暮れをめぐる五つの物語』（カズオ・イシグロ）

『グリム童話集（1）～（5）完訳（改版）』（グリム・ヤーコプ/グリム・ヴィルヘルム）

『新訳 チェーホフ短篇集』（チェーホフ）

『春の数えかた』（日高 敏隆）

『尾崎放哉全句集』（村上 護【編】）

E分類（絵本）

『パンダ銭湯』

（tupera tupera）

★リクエスト随時受付中です！★

読みたい本はありませんか？新しい本、図書館にない本のリクエストを受けついています。図書館のカウンターにある「リクエスト用紙」に記入して箱に入れてください。

＊全ての本のリクエストが通るわけではありません。